

こんにちは 市民病院です

「薬剤師はどんなお仕事？」

飛騨市民病院 薬剤科

薬剤師は、医薬品全般について、幅広い知識を持つ薬の専門家です。

病院や診療所では、薬の調剤、注射や点滴の調整・管理、飲み方の指導、在庫・品質の管理など薬を有効かつ安全に使用するために働いています。

薬局薬剤師は、医療機関からの処方箋に基づき薬の調剤や薬の正しい使い方の指導、薬の飲み合わせのチェックなどを行っています。一般医薬品などすべての薬を販売したり、健康食品・サプリメントの選び方、在宅介護の支援などの相談にのることができます。

製薬会社では、医薬品の研究開発や製造、品質管理のほか、医師、薬剤師、看護師等からの問い合わせに応じて、薬に関する専門的な情報を適切に提供しています。

卸販売会社では、病院や薬局へ薬を売ったり、保管・管理、専門的な情報を提供しています。行政では、国、県庁、保健所などに勤めます。薬事監視員として、医薬品等の表示・保管・適正使用について調査、指導、監視をしたり、研究機関では、試験検査、医薬品研究などを行っています。

このように、薬剤師と言っても、それぞれの機関や組織で業務や役割が異なります。薬剤師になるためには？

薬剤師国家試験の受験資格は、薬科大学が大学の薬学部で6年制を卒業することで得られます。

合格率は60〜70%。大学薬学部の1年間の学費については、国立大学54万円程度、私立大学200万円程度です。

薬剤師になることは、決して簡単ではありません。薬学部に入学するための学力を身につけること、薬剤師になってから何がしたいか、コミュニケーション能力の必要な職場もあります。また早くから家族との相談も必要だと思います。自分の決意も含めて。

ぜひ、一緒に働きましょう。



みんなで活かして
楽しい毎日!

飛騨の薬草を学ぶ 教養講座

シイタケ

秋もどんどん深まるにつれ、薬草がたくさん採れる時も終わろうとしています。飛騨は雪に閉ざされる冬を迎えますが、冬でもスーパーなどで買えるものにも実は薬草として使えるものがあります。それらを紹介していきます。

一年中手に入るものと言えばシイタケ。飛騨は菌床シイタケの栽培も盛んです。また、自分の家でシイタケを育てているという方もいるでしょう。

シイタケは骨や歯の形成に関係するビタミンDに変わる物質が含まれていることで知られていますが、あまりに身近なので薬用にできることを知らないかもしれません。

しかし、その効果たるや素晴らしいものがあります。例えば干しシイタケを煮て出た汁を飲むと咳、風邪、心臓病、動脈硬化、高血圧、腎臓病、食中毒、便秘、二日酔い、冷え性、不眠症、疲労回復といった効果があります。肌に塗れば、ひび、あかぎれ、しもやけに効果があります。

ます。まるごと食べた方がいいですよ。シイタケを酒のおかずにするとかよく酔うという話もその血流改善効果によるものです。乾燥シイタケを黒焼きにすると尿の出が悪い人に効きます。また血圧降下作用もあり、食物繊維やカリウムも多く含まれ、それらが相乗的に効果を発揮するので、高血圧の人は継続して取り続けたいところです。また乳製品と一緒に取ることカルシウムの吸収がよくなるので、骨を丈夫にしたい人も毎日食べたいですね。

コレステロールが心配な人は肉と一緒に料理するとコレステロールを排出する効果が得られます。こんなに効果抜群なシイタケ。いろんな料理と合わせて継続して食べて、おいしく健康になりましょう。



(村上光太郎「薬草を食べるより」)